

緊急安全大会議事録

日時： 令和4年11月21日
17:00～17:30
場所： 於 9階大会議室+Teams

出席者

支店大会議室参加者	清水建設	18名	災防協	6名
Teams参加	清水建設	266名	災防協	40名

I. 開会

司会・進行 安全環境部
渡邊G長

II. 支店長からの指示

山下支店長

お疲れ様です。先月より一歩間違えたら重篤になってもおかしくない災害が連続して発生している為、急遽、緊急安全大会を開くことにしました。一度ここで立ち止まって反省し、再スタートを切っていただきたいと思います。

従来であれば緊急安全大会は、現場の工事長が支店に全員集まり災害の危機感を共有していましたが、コロナ感染拡大防止と移動の負担の軽減を考慮し、リモートにて開催します。

今日の緊急安全大会を、この場で終わらせるのではなく、現場、兼喜会・災防協の各自がそれぞれの持場に持ち帰り、明日からでも朝礼や打合せ等で今回の内容をしっかりと先端の作業員、従業員に周知してください。

私が支店長になって1年と8か月が経ちました。去年は安全優秀賞も頂きました。今年も小さな災害は起きていましたが、何とか踏ん張っていました。しかし、先月より、飛来落下、重機の転倒等一歩間違えれば死亡災害にも繋がり兼ねない事故が、立て続けに発生しています。今、このような状況・連鎖を止めなければなりません。後ほど安全環境部長から発生した災害事例の説明がありますが、命に関わるような災害は絶対に防がなければなりません。クレーン転倒や火災、近隣に影響を与える大きなインフラ災害もまた同じです。私は時間を見つけては、現場を巡回していますが、現場には目に見えない危険が沢山あります。そういう箇所を私を含め支店幹部、部署長、そして兼喜災防幹部の方々が、違った目・多くの目で見ること、ひとつでも減らしてください。

「安全が全てに優先する」という強い気持ちで、今日を契機に実践してください。

11月も半ばに入り寒さも徐々に増していきます。コロナ感染もまた増加傾向にありますし、インフルエンザも危惧しなければなりません。関西支店においてもいろいろ問題は山積していますが、兼喜災防の皆さんと一緒に、「コツコツと一から出直す」という気持ちでやっていきたいと思しますのでよろしくお願いします。

「ご安全に！！」

Ⅲ. 災害防止協議会 会長の指示

岩田会長

本年度10月25日～11月15日に11件の事故が発生しています。
内訳を見ると休業災害4日以上2件、不休災害（休業3日以内）9件です。
被災者の特徴として

- ① 現場経験年数が3年以内の作業員の事故7件（参考 $7/11=63.6\%$ ）
- ② 年齢が20歳代の作業員6件（参考 $6/11=54.5\%$ ）

となっており、これからの専門工事業界が抱える大きな課題でもあり、新規入職者への教育が重要になってきたことを結果として示しています。

以上のことから事故再発防止として次の3点について再点検をお願いいたします。

- 1, 全作業員への事故多発状況の周知徹底
- 2, 経験年数の浅い作業員への現場での適正配置と管理体制の再確認
- 3, 各社における若年作業員の安全教育の徹底

最後に、安全の基本はみんなの目で事故を摘み取ることであり、声を掛けやすい現場の雰囲気作りという方針で、現場点検をお願いいたします。

今回の緊急安全大会を契機に絶対事故を起こさない強い気持ちで、出直しましょう！
”ご安全に！！”

IV. 災害事例の説明・原因分析

安全環境部 辻部長

別紙資料参照

V. 安全総括責任者からの指示

野口副支店長

お疲れさまです。急遽の招請でしたがご参集いただき、ありがとうございます。先ほど岩田会長からは災防協各社さんに対する指示がありました。私からは当社従業員に対しての指示事項を中心に話をさせていただきます。しっかり聴いて、各自実践してください。

まずは「安全衛生の手引き」の5ページに「統括安全衛生責任者の巡視」に関する記載が、20ページおよび22～25ページにわたり「統括安全衛生責任者の責務」に関する記載があるので、全現場の統責者は必ず読んで確認し、自分の日常の行動をチェックしてください。法的な義務もありますが、現場内が一丸となって安全に仕事を進めるんだ、という空気感を生み出し、先頭に立って引っ張っていくことが統責者の一番の責務だと私は考えています。もし自分がそれに相応しくないと思うなら、すぐに適任者に交代してください。決して若手係員や協力業者さんに安全の責任を押し付けることはしないように。上職者になればなるほど、配下を守ることを優先に考えてください。

「不安全行動に起因する災害が止まらない」と言われて久しいですが、各々の現場で協力業者さんとよく話し合ってもらい、現状と問題点の把握に努めてください。確かに不安全行動をする人も悪いですが、実は当社の段取りの悪さ、例えば業者さんに手配を丸投げしてしまっているとか、無理な工程や仮設計画を押し付けていることが間接的に不安全行動の原因になっているのでは？と私は感じています。先ほど説明のあった3番目の事例（高所作業車の転倒）はその典型的なものだと考えています。

先日「墜落災害多発に関する周知会」を開催し、業者さんに対しては「やらされている安全＝“暗い安全”ではダメ、“明るい安全”をシミズはやっていきたい」という話をしました。要はちゃんと安全に向き合っている人には感謝や称賛の気持ちを言葉で表してモチベーションを上げてやってください。反面、こちらはベストを尽くした段取りをしているのに不安全行動をしてしまう人に対しては、徹底的に厳しい態度で臨み正しく指導してください。そんな人はごくわずかのはず、そのわずかな芽を事前に摘み取ることが大事だと考えます。「明るい中にもピリッとスパイスの効いた安全管理」を心掛けてほしいと思います。そのために具体的にどうアクションするのかは皆さんの個性や現場の特性もあるかと思うので各々の頭で考え実行してください。

いろいろと言いましたが、本日で一旦全員がリセットして、まずは関西支店内の全ての現場で働く人が、安全かつ健康に新年を迎えられることを目標として、一日一日大事に過ごしてほしいと思います。

「ご安全に！！」

VI. シュプレヒコール

全員

”年末まで無事故で頑張ろう！！”

VII. 閉会

緊急安全大会 次第

2022年11月21日(月) 17時00分

- 1 開 会
～ 司会・進行
安全環境部 渡邊グループ長
- 2 支店長からの指示
～ 山下支店長
- 3 災害防止協議会会長からの指示
～ 岩田会長
- 4 災害事例の説明・原因分析
～ 辻安全環境部長
- 5 安全総括責任者からの指示
～ 野口安全総括責任者
- 6 シュプレヒコール
～ 渡邊G長
- 7 閉 会

緊急安全大会

2022年11月21日 関西支店

関西支店休業災害 (飛来落下) 吊下げ移動中のフラットバーが作業員の頭上に落下

◇ 発生日時 : 2022年10月28日 (金) 午後1:15分頃

◇ 被災者 : 鍛冶工 56歳 (所属 2次) 経験 34年6か月



【発生状況】

地下躯体開口部閉塞用のフラットバーを、マグネット式吊具を使用し、2.9tミニクレーンで吊上げ横移動中に、りん木としていたアングル材を超えた時、段差分(H=20cm)を落下した衝撃で吊具が外れ2.5m落下し、斜め下方でボルト締め作業をしていた作業員の頭に当たった。(フラットバー:幅20cm、厚さ6mm、長さ5.3m、重量50.8kg) (MRI検査異常なし、手足のしびれ)(11/23退院予定、リハビリ継続)

【原因と対策】

- ・マグネット吊具が適正に使用されていなかった⇒仕様書では**厚さ10mm以上**の物に使用するよう推奨している
- ・マグネット吊具は**水平移動のみ**の使用としていたが、縦吊をしていた⇒決められた**施工手順**が守られていなかった⇒今後のマグネット吊具の使用は禁止とした
- ・揚重作業エリアに入り込んで作業をしていた⇒**声掛け**が出来なかった

関西支店不休災害 (はさまれ) 鍛冶工が山留め架設中左手を挟まれ

◇ 発生日時 : 2022年11月12日(土)午後15:00分頃

◇ 被災者 : 鍛冶工 56歳(所属2次)経験30年3か月



【発生状況】

オペ1名、作業員2名にて4段目山留支保工架設時に設置済切梁の通り直しを行っていた。切梁の片側が固定された状態で4.9 t c cにて切梁を揚重し、ボルト穴1個分(10cm)移動する際に、ブラケットと山留材に左手人差指先端(1cm程度)を挟んだ(左手人差指先端切断、緊急手術~11/15退院 休業2日)

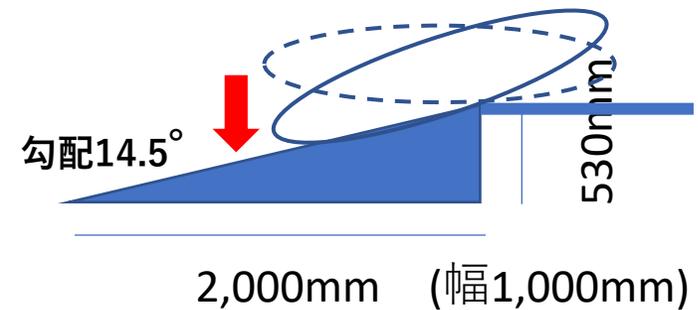
【原因と対策】

- ・切梁がせっていてボルトを外しただけでは動かなかったため、クレーンで引こうとしたが、それでも動かなかった。被災者がボルトの残置を確認しようと切梁に手をかけて覗き込んでいた時に、せりが解放され急激に荷がふれて、被災者の手がブラケットに当たった⇒「**4つのないか**」の確認を徹底する
- ・設置済切梁の通り直しという「**非定常作業**」であったが、作業手順がなかった
⇒関係者が集まり、現地で**作業手順**の打合せ・**周知確認**
- ・いつものチームで**慣れ**ており、合図・声掛けなしに作業が進んでいた⇒**合図**を定める(ク則25)

関西支店休業災害 (はさまれ) 高所作業車搬出中にスロープで転倒し、両足を転倒した高車に挟まれる

◇ 発生日時 : 2022年11月15日(火) 午前11:58分頃

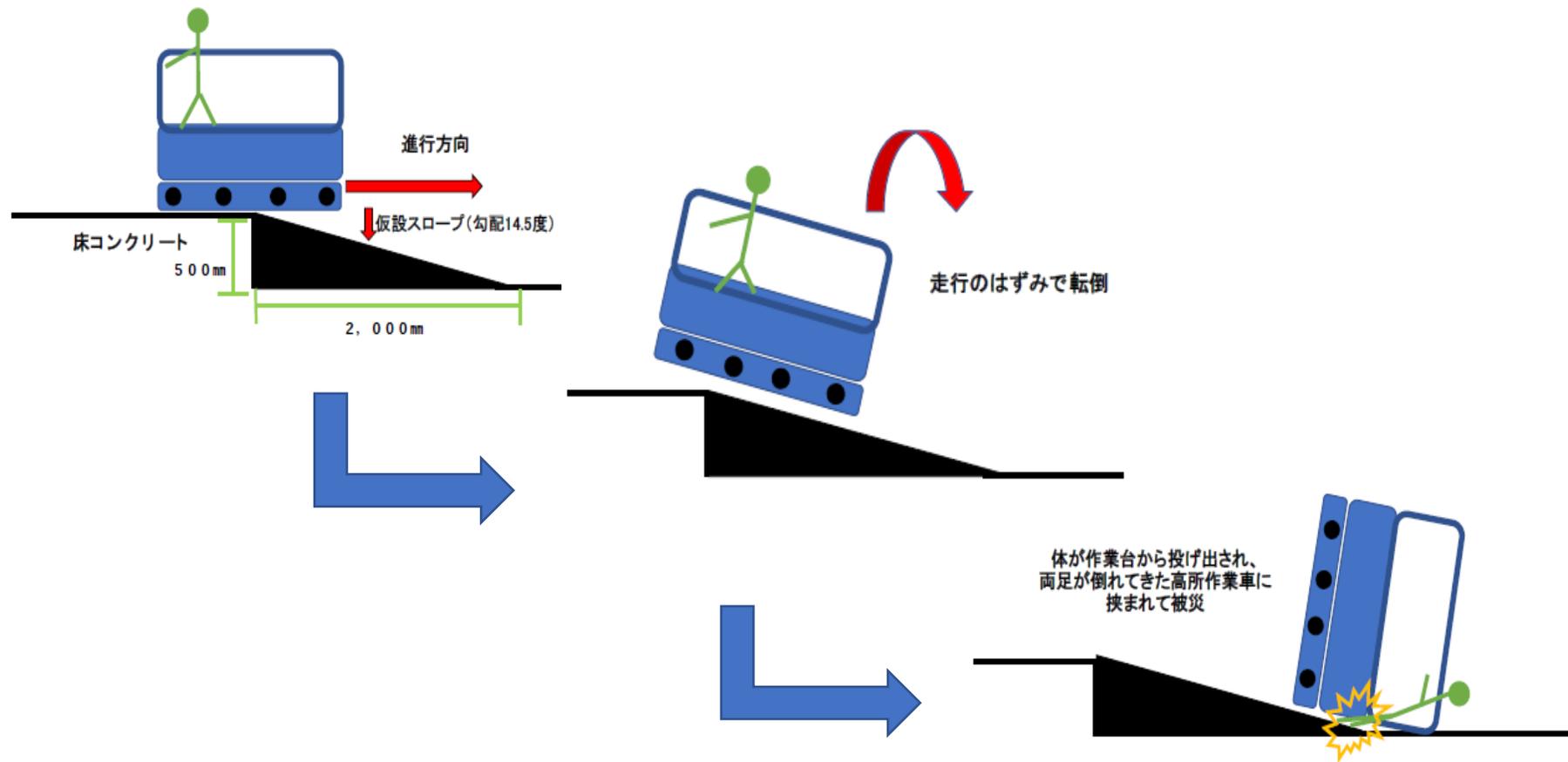
◇ 被災者 : 空調設備工 37歳(所属2次) 経験13年7か月



【発生状況】

仮設スロープ(硬質発泡スチロール+コンパネ張)を使用してテーブル型高所作業車を搬出する際に、高所作業車が水平部からスロープ部分に移るときに勢いがつき前方に倒れ、乗って操縦していた被災者が作業台とコンクリート床の間に足を挟まれて被災した(左第1,2,3中足骨骨折、両下腿圧挫傷)

関西支店休業災害 (はさまれ) 高所作業車搬出中にスロープで転倒し、両足を転倒した高車に挟まれる



【原因と対策】

- ・ 高所作業車の登坂能力が14度であるのに対し、仮設のスロープが14.5度であったため、高所作業車が走行の
はずみで転倒した⇒場内の全ての仮設スロープについて傾斜角度ならびに強度の確認をし、**作業に適した**
スロープを設置する
- ・ **現地確認不足**により危険作業を見過ごした⇒安全を先取りした**計画の策定、周知、現地確認のPDCAを回す**
- ・ 被災者は有資格者であったが、今回の仮設スロープは初めてだった⇒手順を周知し作業前に**危険予知**を行う

関西支店不休災害

発生日	職 種	年齢(歳)	経験(年)	発 生 状 況
10/25	電工 (別途業者)	24	1	ロングジャンパーを使用してケーブル搬入作業を行っている際、屋上にて出入口ゲートを自分で開ける時、自分の左手中指をスライドゲートではさみ、切断した
10/25	揚重工 (一人親方)	39	3	工事用ELV前でボード搬入時、台車のバランスが崩れ、右足にボードが倒れはさまれた(不休)
10/31	鳶工	39	2	外部足場組立中に、梁柵斜材上部の固定位置に手をかけた際に、下部のボルトが外れ、手をかけた左薬指が斜材に挟まれた
11/1	防水工	29	10	シール押さえ用のヘラを作成する為に仕上げ用バック材を切断中に自身の左手一指し指の付け根と第二関節の間を切創した
11/7	揚重工 (一人親方)	20	2	工事用ELV前でLGS搬入時、アルミ台車に積んでいたLGS約170本中の約40本が荷滑りし、LGSと台車の間に左親指がはさまれた(不休)
11/7	揚重工 (一人親方)	21	3	パワーリフターを使用してボードを2段積みにして仮置をしている際に、リングを設置した手を抜こうとした時に下ろす合図を同時にしたため指をはさんだ(不休)
11/7	施工管理 (派遣)	21	1ヵ月	基礎梁上を歩いていた時、足を踏み外し、スターラップの間に右足が挟まり、膝を打った(休業1日)
11/14	鉄筋工	28	2	可搬式作業台から降りようとした時、ズボンの左ひざ付近に差筋が引っ掛かり、態勢を崩して倒れ、口腔部に差筋(栈木養生から外れていた)が接触した(口腔部裂傷～不休)

- 小さな成功体験の積み重ねによって「**自分は大丈夫**」(過信)し事故につながる
⇒正常性バイアス(本能)⇒**計画の周知、知識**がバイアスを乗り越える手段
- 計画不足
 - ・**非定常作業**、作業内容の**変更**
 - ・**業者任せ**
 - ・十分な**検討**が出来ていない
⇒**協力業者と一体となった、協力業者からの進言も含めた手順書**の作成
- **声掛けが出来なかった**
 - ・年長者、ベテラン、他社には声掛けしづらい
⇒**仲間を守る意識**、声掛けしやすい**雰囲気づくり**
- 安全は**一瞬一瞬**の積み重ね
全国安全週間のスローガン「**安全は 急がず 焦らず 怠らず**」を愚直に実行する

最後に・・・

「自分の身は 自分で守る」⇒ 一人KY

「仲間の身は みんなで守る」⇒ 声掛け

「朝来た元気な状態で 夕方帰らす」⇒ 統責者、職長の責務



ご安全に！